



待ちに待った運動会 いよいよ

先月28日から、計画的に実施してきた運動会練習。日に日に、子どもたちの成長を感じないではいられません。

たとえば、鼓笛の練習では、まず、鍵盤ハーモニカや太鼓類などのパートごとの練習を会場を分けて実施してきました。ある程度整ってくると、体育館に全校生が集まって、全体での音合わせの練習をしました。それができてくると、校庭に出て行進をつけた演奏をし、さらに、列をそろえた演奏をするといったように、子どもたちの成長が日を追って感じられるようになりました。子どもたちのがんばる力に、感動を覚えます。

このように、練習過程を通し、子どもたちは成長していきます。もし、はじめから運動会を中止していたら、この練習過程の中での成長はあり得ません。過程が大事だということ、このことから、ご理解いただけるのではないのでしょうか。(陸上競技交歓会への練習・本番の取組みにも、同様のことが言えると思います。子どもたちは、「なすことによって何かを学んでいく」ものだと思います。)

さあ、いよいよ、本番です。子どもたちの今までの練習過程が、見ている人たちに伝わる、見ている人たちに感動を与える運動会になるであろうことは、今までの様子を見てきた者にとっては確信できます。どうぞ、お楽しみに。そして、励ましの声をかけてあげてください。「がんばって、よかったね。」と。

